

筑後地域の農産物で自由研究、アロマキャンドルづくりへ挑戦！

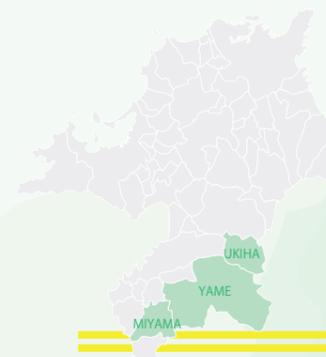
アロマオイルの原材料

今回は、筑後地域で生産された果物を使用してアロマオイルの蒸留とキャンドル作りを行いました。

使用した果物は、久留米市産の**多田錦**と、みやま市産の**山川みかん**です。

多田錦は種がない柚子の品種として有名です。豊かな香りを持ち、料理の香味付けでもよく使用されます。

みやま市産の**山川みかん**は福岡県を代表するブランドみかんです。濃厚な甘味と酸味のバランスが優れています。



蒸留機の組み立て

新聞部メンバーの田島さんのご実家から蒸留器をお借りしました。小学校ぶりのピーカーやフラスコに大人たち、大興奮！ガラスなので割らないよう慎重に組み立てました。



蒸留用に果物を加工

蒸留には果皮が必要ということで、フルーツナイフで皮むき。甘皮部分は、香りの苦味・渋みの原因となるので、取り除きます。元パティシエの永田さん、持参のナイフに慣れた手つきで皮を向いていました。



いざ、蒸留！！

組み立てた蒸留器を使用し、果物の蒸留を開始しました。熱と水蒸気の方で、果物の持つ豊かな香りの成分を慎重に抽出していきます。使用した果皮は、300g。どれくらいオイルがとれるでしょうか？



精油＋蒸留水の完成！

1時間経過したところで、みかんの香り成分を凝縮した精油と、ほのかな香りの蒸留水が完成！地域特産のみかんから生まれた香りは格別な出来栄です。



番外編：瓶詰めで砂糖漬けも！

果皮を剥いたあとのみかんをはちみつで付けて、みんなで一服。優しい味に、身もこころもぼかばかしました。多田錦は、砂糖漬けにしてみました。焼酎と混ぜ、炭酸割りをして、柚子サワーとして美味しく頂きました！

キャンドルづくり

基本のキャンドルは、ワックス（ろう）を湯煎でゆっくり溶かし容器に流し込みますが、今回はアロマキャンドルなので、流し込む前に精油を加えます。その後、座金（ざがね）を容器の底に固定し、中央にまつすぐになるようにセットします。溶けたワックスを、用意した容器に静かに流し込みます。

レッツスタート！



アロマ注入

溶かしたワックスの温度が、60℃から70℃程度に冷めてからアロマオイル（精油）を加えます。この温度帯で加えることで、香りが揮発しにくくなるそうです。いざ、注入♡

香りを調節しながら、少しずつ足していきます・・・一滴一滴丁寧に、慎重に。手が震えました（笑）



アロマキャンドル完成

アロマオイルを混ぜたキャンドルを、ホコリが入らないように注意しながら動かさずに冷まし、完全に固めます。これで、オリジナルのアロマキャンドルの完成！キャンドルには、みんなで蒸留した**多田錦**と**山川みかん**、そして八女蒸留所さんのカボス精油の3種類、作製しました！同じ柑橘でも違う香り。皆さんも精油でオリジナルアロマキャンドル作りに挑戦してみてください。

